

木口小平 （海防） 陸軍兵卒。明治五年岡山縣生れ、二十七年七月、二十九日没（八七二一五）。明治二十五年廣島の聯隊に入營。白清戰等、喇叭手として従軍し、緒戦で戦死。死んでから喇叭を離さなかり、大忠勇譚は廣く知られた。

文献に、手塚魁二著「永久の響」喇叭手木口小平傳（大正二年十月十五日中央教育會）、長岡常男著「木口小平」（昭和七年四月）、二十五日岡山・木口小平傳刊行所）、片山巖著「（血染の）喇叭木口小平」（昭和九年十月）、二十五日日本文化研究所編刊、明治圖書株式會社發賣「小國民文庫」等。